

令和2年度 「国有林モニターアンケート(第2回)」調査結果

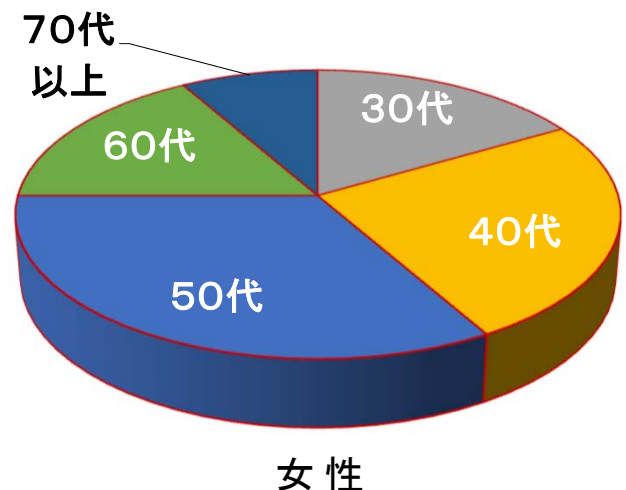
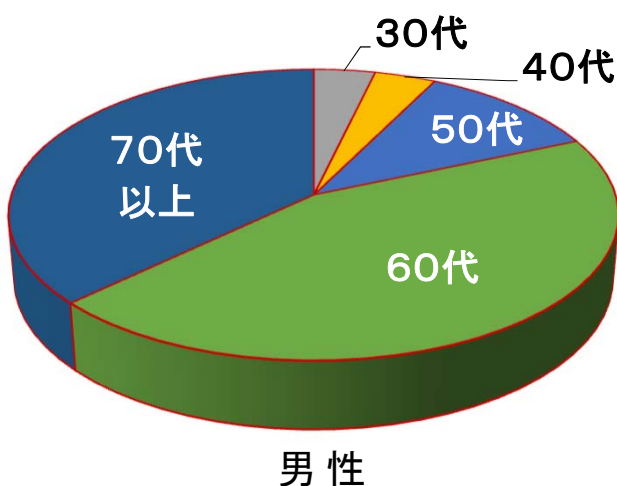
近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

今回は、12月に送付させていただきました「令和元年度 国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」の内容を中心として設問を用意し、記述での回答箇所を設けましたが、いかがでしたでしょうか。

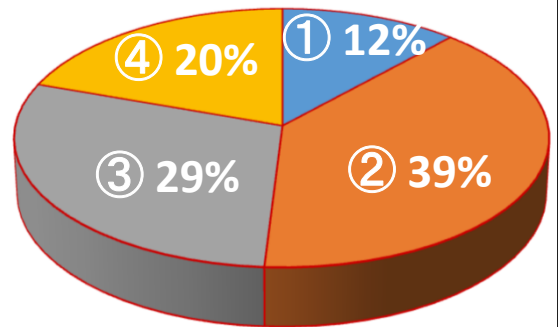
調査時期	令和2年12月
調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、ホームページ内のフォームでの回答
回収状況	アンケート依頼モニター数 76名
	アンケートの回答 51名
	アンケートの回答率 67%

ご回答いただいたモニターの年代別構成 (人)

区分	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	0	0	0
30代	1	4	5
40代	1	6	7
50代	3	8	11
60代	12	4	16
70代以上	10	2	12
計	27	24	51



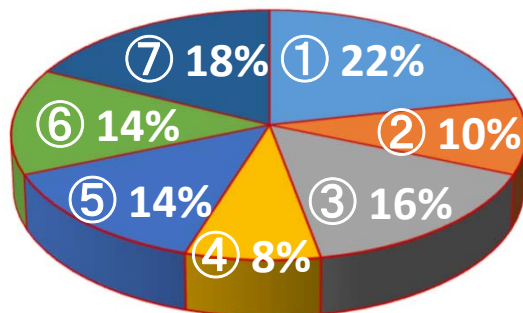
質問1 令和元年度の実施状況の概要について(P1~P8)のトピックスの中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	トピックス1 樹木採取権制度の創設(P5)	6	12%
②	トピックス2 森林経営管理制度の円滑な運用に向けた無人航空機を活用した市町村支援(P6)	20	39%
③	トピックス3 大嘗宮(だいじょうきゅう)の建立に伴う良質皮付き丸太供給(P7)	15	29%
④	トピックス4 令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風による災害の復旧に向けた技術支援等(P8)	10	20%
計		51	



質問1 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	森林管理を少しでも改善できる制度の創設なので。
①	林業に取り組みたい方を増やす一助になると思われる試みと考える。
②	現代の技術により今まで難しかった問題も解決していくことが素晴らしいと思った。
②	山が荒れていて人が入れないところも安全に見ることができ、時代にあっていると思った。
②	今後積極的な市町村支援を期待したい。
②	市町村単位では予算的にできないことなので、内容についてとても興味を持った。
②	可視化できるというのはとても魅力的だが、非常に高価であることが問題かと思う。
②	無人航空機を使って山林の現状把握ができることは、所有者の管理意欲にもつながることで素晴らしいと思った。
②	国有林での実施事例を民間に適用するのは良いこと。民間ができないことを国(国有林)で技術開発してほしい。
③	大嘗宮の建立に丸太を供給したのは素晴らしいことだと思う。今後も供給して欲しい。
③	良質な丸太が国有林で生産され、それが大嘗宮に使われていることを知り、国有林の大切さを改めて認識できた。
③	身近な森林が国の行事につながっていることに興味した。
③	林業事業者等と協力し、良質皮付き丸太の生産に取り組んでいることを初めて知った。
③	国有林が国の大切な行事のために活用されていることを知り、これまで気に留めることがなかった木造公共建築物に関心がわいた。
④	自然災害は近年増加していると思うので、復旧に力を入れた技術支援をすることでより早い復旧につながると思う。
④	今後ますます甚大化する災害に対応するうえで大きな参考となる。
④	千葉県で、風倒木による停電からの復旧に長期間かかっている報道があったので、現地の森林管理にとっても興味があった。
④	あまり台風などの被害経験のない地域で、苦労があったのでは、と想像している。

1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進(P10～P51)

質問2 (1) 公益重視の管理経営の一層の推進(P11～P28)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	事例1 人工林伐採後の広葉樹植栽等による針広混交林造成(P16)	11	22%
②	事例2 平成28年熊本地震で被災した県管理治山施設の復旧事業の完了(P19)	5	10%
③	事例3 令和元年東日本台風により発生した山地災害への緊急応急対策等の実施(P20)	8	16%
④	事例4 災害に強い林道に向けた取組(P22)	4	8%
⑤	事例5 地球温暖化防止に向けた効率的な森林整備(P25)	7	14%
⑥	事例6 治山事業における間伐材等の木材利用の推進(P26)	7	14%
⑦	事例7 ボランティアと連携した小笠原諸島の固有生態系を脅かす外来植物の駆除(P28)	9	18%
計		51	

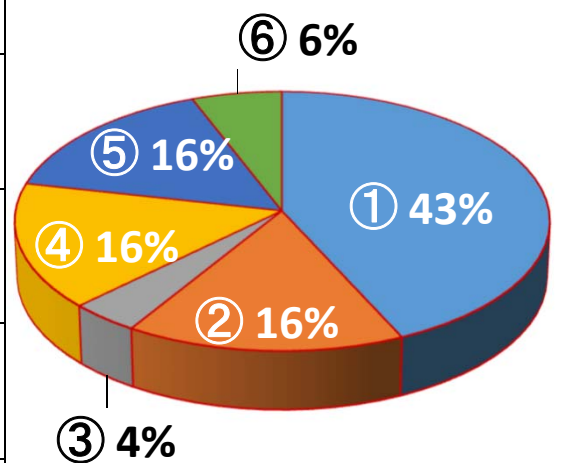


※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問2 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	機能類型区分に従って、可能な限り全国に広めていただきたい。
①	家の近くにも皆伐した山があり、土砂崩れの危険が高まっているので、混交林は非常にいいと思う。
①	針広混交林造成のメリット、デメリットが何なのかが素人には、理解できない。
①	針広混交林が造成されていると知り、山の森林の景色もこれから変わっていく可能性が大きく、興味深かった。
①	針広混交林造成による山地の強化及び保有水量の増加、災害縮小を期待している。
②	ビフォーアフターの写真を見て、難しい工事を高い技術力で完成させたことに感心した。
②	高度な技術力を必要とされる工事に係る人々の努力が伝わる気がした。
③	台風災害の復旧は、市街地が優先されて、山地への対策は後回しにされがちであるが、きちんと取り組みがなされていて、安心した。
③	災害の対応強化により一層進んでほしいと思い、興味をひかれた。
③	災害対策は二次災害を生じさせないようにするために必要と考えた。ヘリコプターとともにドローンも活用できると良い。
③	自分の居住地においても山地災害が発生している。応急対策等が民有林でも必要と考えており、指導、支援が受けられればと思ったため。

質問2	興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
④	林道整備が今以上に進むと、治山管理のみならず山林の有効活用がもっと進むと考えられる。
④	災害に強い、はどのような方向から見るのがいいか、を考えて興味をひかれた。
⑤	災害の源ともなる異常気象などを引き起こす温暖化を防止することは、急務であり、何よりも大切なことと思う。
⑤	列状間伐した道を遊歩道化し人が山林へ入りやすくし繋げて広げていけばいいのかなと思う。
⑥	景観に配慮された施業に敬意を持つと同時に、実施コストと時系列的な変化に注目している。
⑥	治山も大切だが、周辺の景観との調和も考えられていることにひかれた。
⑦	生態系のバランスが崩れてしまうので、外来種の植物、動物は駆除すべきと思う。
⑦	ボランティアで一般の方も参加することで、普段は入れないところに入ることになり、理解もできるようになると思う。
⑦	「林野庁は国有林の管理だけ」ではダメで、民有林を含めた我が国の森林、原野を視野に入れた管理保全活動をすべき。

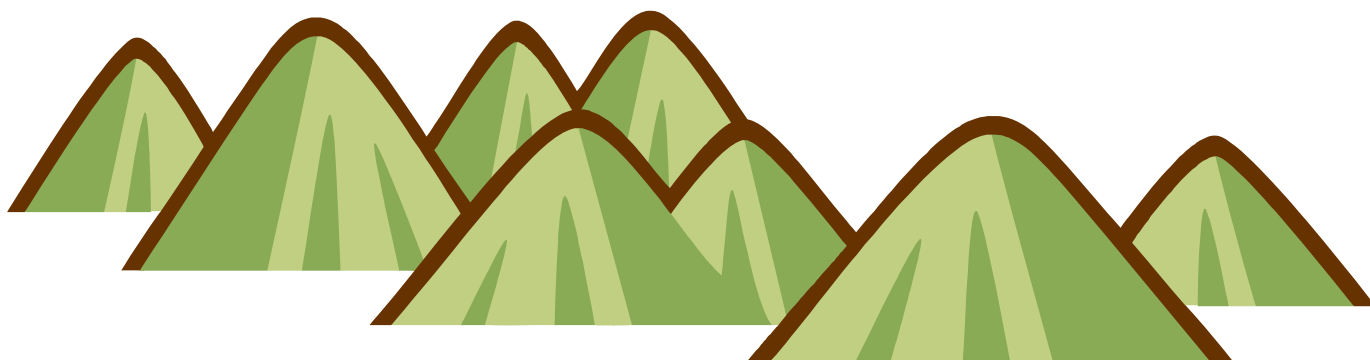
質問3	(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献(P29～P40)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	事例8 大学と連携した人材育成・技術開発の取組(P32)	22	43%
②	事例9 下刈省力化に向けた現地検討会の開催(P33)	8	16%
③	事例10 生産性向上に向けた日報管理に関する検討会(P34)	2	4%
④	事例11 一貫作業システムの導入を通じた林業経営者の育成(P36)	8	16%
⑤	事例12 積丹(しゃこたん)地域での民国連携による路網整備や土場利用(P38)	8	16%
⑥	事例13 森林経営管理制度の定着に向けたセミナーの開催(P39)	3	6%
計		51	



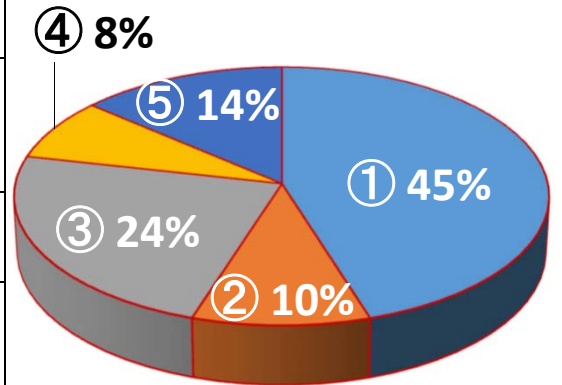
※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問3 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① 近畿で近い大学と一緒に取組をしている点で興味を持った。
- ① 若い世代の森林に対する関心を高め、その普及啓発を図る意味でも、大変意義があることだと思う。
- ① 若い人の育成は今後の課題でもあるので、続けてほしい。
- ① 人材育成が一番難しいところではないかと思うので、技術開発の取り組みなどを高く評価する。
- ① 大学やその他の機関と連携しながら取り組みをすることで、今までにないものができると思った。
- ① 最新の技術なども取り入れて、スマート林業の推進や、若い世代に森林の大切さを教育、知ってもらうことは大切だと思う。
- ① 若い人の人材育成、理系の大学、高等教育は、最も大事である。
- ① 高齢の方が携わっているイメージがあるので、若い人に関心を持ってもらい将来も森林・林業の再生が続いていけばいいと思う。
- ① 地上レーザースキャナと無人航空機の併用が実用化されることに期待している。
- ② 保育コストを減らすための下刈り作業の現地検討会実施はとても魅力的だと思う。
- ② 重労働の下刈りが減ることで、省力化ができれば、就労者も増えるのではないかと考える。
- ② 少しずつでも省力化に向けた努力の積み重ねが肝要と考える。
- ④ 一貫作業システム等の複数年の契約で継続していくことは大切。計画的な事業で、安心して仕事が続けられる。
- ④ 関係する一連の作業をパッケージ化して行う作業工程の効率化に、ほかの作業への応用可能な共通項の有無に興味がある。
- ④ 木材価格の低迷。いかに省力化して、コストダウンを計るか。
- ⑤ 国有林関係者と民有林関係者双方の知恵の出しあいや、アイデアから更にグレードアップしたアイデアを生み出せる活動。
- ⑤ 北海道の国有林率は高いので、民有林所有者と協力して色々なことをやってもらいたい。
- ⑤ 施業の地域を一体的に把握する考え方に共感した。
- ⑥ セミナーを開催し、たくさんの方々に森林のことに知ってほしいと思う。
- ⑥ 勉強会や講習会が頻繁にあると、国有林管理に対する知識も深まるのではないかと考える。



質問4		(3) 国民の森林(もり)としての管理経営(P41~P51)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	事例14 国有林モニター制度を通じた多様な情報発信(P42)	23	45%
②	事例15 砂坂(すなさか)海岸林における遊々の森協定に基づく清掃活動(P45)	5	10%
③	事例16 土佐備長炭の原料となるウバメガシの植樹祭(P46)	12	24%
④	事例17 地域の自然、歴史を学べる銚子ジオパークの森(P48)	4	8%
⑤	事例18 地域の植樹活動への国有林野の提供(P50)	7	14%
計		51	

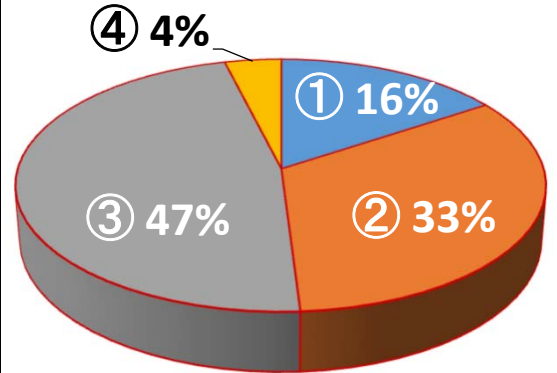


※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問4		興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	情報発信も大切だが、発信だけ(一方通行)で終わってはいないか？		
①	国有林モニターで森林の事を知っている人を増やしてほしいと思う。		
①	民間の意見を発信できる事が重要だと感じた。		
①	遠方から参加できるオンラインの見学や意見交換の方法を模索する必要がある。		
①	地域の山林活動に携わっていけるように、モニター後のアドバイザー的役割の登録制度があると良い。		
①	国民は国の林野行政に対し、無関心である。モニターを通じてPRする。		
①	専門ではない者でも、多様な情報発信により、森の大切さや、国有林に関する方の仕事や努力なども知ることができ、発信できる。		
①	自分自身がモニターとなって森林管理局の活動を知り、所有林等の林業経営の参考にしたいと考えている。		
②	子どもたちにどんどん森林の大切さや維持管理の大変さを学んでほしい。		
②	里山林をはじめ、地域の方の参加なしには景観を維持できないと考えている。		
③	植栽、植樹は、もっと国民が参加できる機会を多くしてほしい。		
③	特産品の備長炭の原料が地域外から調達されていることは初めて知った。		
③	県外からも原木を調達するほどに炭を作れる体制があることが素晴らしいと思った。		
③	需要量は多くなくても、特別な用途として必要な材の持続的な供給が必要だと思う。		
④	歴史が好きなので、このような所があると素晴らしいと思う。		
⑤	地域住民に参加だけではなく参画意識を芽生えさせる可能性を持った活動。単発的活動ではなく持続性を持った活動にもつながる。		
⑤	勉強会の中でも自分で体験をすることは興味を持つ上で一番有効だと思ったので。		
⑤	企業による社会貢献活動の一環としての取組の推進が将来の国有林野維持・管理に貢献すると思われる。		

2 国有林野の維持及び保存(P52～P67)

質問5		(1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理(P53～P58)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	事例19 GSSによる多言語表記カードの配布(P54)	8	16%
②	事例20 地域と連携した那須街道アカマツ林保全の取組(P56)	17	33%
③	事例21 請負事業者と地元猟友会との連携によるシカ捕獲(P58)	24	47%
④	無回答	2	4%
計		51	

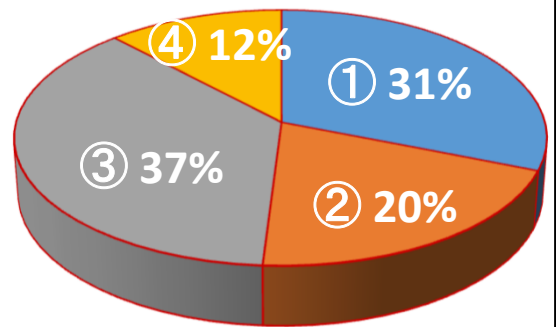


質問5 質問5で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① 幅広くマナーを呼びかけるために多言語表記カードを作成することは不可欠ではあるが、正確な情報伝達に心がけ、誤りがないか点検することが何よりも大変なことだと察せられる。
- ① 国有林を守り、環境を維持するのに、いろんな国の言語がいるとは思わなかった。
- ① 人間がかげがえのない様々な自然を、破壊してきた経緯があるので、未然に防ぐ手立てを行って欲しいと思う。
- ② 居住地では松くい虫の被害が多く、見かけると担当行政を調べ、連絡をしている。
- ② アカマツの松くい虫被害は地域問わず大きな問題だと思う。
- ② 被害木の本数は減少傾向にあるとなっているが、大変さを感じる。
- ② 国は県や市町村と協力して防止対策にもっと積極的に取り組むべき。
- ② 岡山県では従来、「備前焼」の燃料として活用されてきた経緯があるが、アカマツ林の枯死で現在は窯元へ供給できない現状に困っている。
- ② 行政だけでは限界があると思う。地域の人に関わることが山の保全には大切だと思う。
- ② 当地でも、以前マツ枯れ現象が大きな問題となったが、最近では落ち着いている。全国的な取り組みが林野庁でなされていないのか気がかり。
- ③ 鹿は、物凄い勢いで植物を食べ尽くすので、思っている以上に被害が大きくなる。
- ③ シカを捕獲せずにとともに生活できるように良い方法を考えてほしい。
- ③ 鳥獣管理も獣害被害を防止するうえでは重要な施策である。
- ③ 猟友会の新たな社会的役割として環境保全・獣害対策がある。会員の皆さんの高齢化が心配。獣害対策の技術革新も求められている。
- ③ 近年、自分の居る地域でシカ被害が出ており、適正なバランスをとる必要を感じている。
- ③ 環境の変化により、シカやイノシシ、クマなども出没することが多く、動物と森と人間の関係は、なかなか大変なことだと思う。
- ③ 森林を守るための狩猟において、ついで見回り・通報、捕獲は、担当者間の情報共有により、良い関係が保たれると考える。
- ③ 高齢者の多い地域に防除の必要な森が広がっているので、早期の取組、継続が望まれる。
- ③ 植樹しても獣害対策の手間、経費を考えれば、そこまで手をかける余力がないのが実情。

質問6 (2)「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存(P59～P67)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。

①	事例22 大杉谷(おおすぎだに)森林生態系保護地域における森林再生の取組(P63)	16	31%
②	事例23 民有林との協定締結による「四国山地緑の回廊」の充実強化(P64)	10	20%
③	事例24 希少な野生生物保護のための取組(P66)	19	37%
④	事例25 綾(あや)の照葉樹林プロジェクトの取組(P67)	6	12%
計		51	



質問6 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① 大杉谷へ行ったことが何度かあるので、興味がわいた。森林を再生する取り組みがないと、森林は終わってしまう。
- ① 生態系の頂点にシカ・イノシシがいるので激増している。喫緊の対策が必要。
- ① 自然環境の保護・保全は環境省との連携で推進される必要があるが、国民には林野庁の役割が見え難い状況。
- ① 地元で、このようなイベントがあれば、興味のある方は参加したいと思う。
- ① 国の関与は必要だが、やはり人手が必要なので、地元市町村や会社、地元ボランティアなど地元を巻き込んだ活動でないと作業も進まない。
- ② 自分の居住地に緑の回廊はなく、どのような団体や企業が締結するのか興味がある。
- ② 四国山地緑の回廊のことを知り、まだ行ったことがない四国山地を訪れてみたいと思った。
- ③ 九州だけに限らず、日本全国で同じような体験学習、動植物に関するツアーなど、大いに計画してほしいと思う。
- ③ 本土よりも希少な動物や植物が多いと思うので、これからも保護に力を入れてほしい。
- ③ むやみに森林に入り自然を乱してまうことを制限することは致し方無いと考える。
- ③ 野生生物は失われると二度と取り返しがつかないと思うので、保護することは重要だと思う。
- ③ 森林の保護が希少野生生物の保護につながっていき、自然を大切に守り、学ぶことになると知った。
- ③ 希少な野生生物の保護は、長期的に地道な努力の積み重ねが求められるもので、また、地域住民への十分な説明と理解が必要で、緊密な連携を欠くことはできないと思う。
- ③ 生態系の維持管理が、これまで以上に重要な政策課題になる時代に入っているため。
- ③ 希少な野生生物を保護していくため色々な取組が実施されていることには賛成。
- ④ 希少野生動・植物保護活動は息の長い活動ながら、絶対に必要な項目である。
- ④ 人工林から照葉樹林に復元する事は素晴らしいと思う。
- ④ このような取り組みがなされている事を、今回知り、今後も見ていきたいと思う。

3 国有林野の林産物の供給(P68～P75)

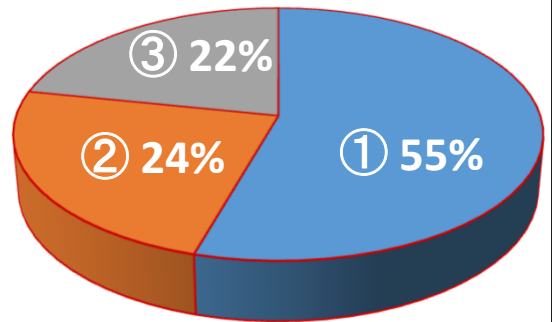
質問7 (1)林産物等の供給、(2)国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。				
①	事例26 北海道産木材の高付加価値化に向けたシステム販売(P72)	13	25%	
②	事例27 里山林の広葉樹材の活用に向けた検討(P72)	24	47%	
③	事例28 民有林における施業集約化や未利用間伐材の有効利用の促進に向けた民国連携によるシステム販売(P74)	14	27%	
計		51		

※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問7 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	付加価値の高い柱の用途を増やすことができたらいいと思う。
①	北海道の木材の価値を上げ、システム販売がますます良くなればと思う。
①	付加価値をつけて、利益が出るように進めていただきたい。
①	個々の木材の耐久性をはじめとする品質に課題があっても、CLTなどの集成材の需要が開発されることを期待している。
①	良質な国産木材を正当な価格で流通すべきと考えている。
②	里山林の広葉樹林を無駄にすることなく活用することで経済が回る、潤う気がする。
②	広葉樹の使用までの乾燥期間が長いため、特別材や大径木などが販売経路にのらないのではないかと。
②	木を利用した商品をたくさん販売してほしい。
②	広葉樹材の活用の幅を広げることは森林管理につながっていくので、どのように有効活用されるのか知りたい。
②	手入れの行き届かない里山林野に多い広葉樹の計画的な伐採、萌芽、天然更新が望まれる。
②	巨木信仰のようなものが下地にあるので、大木や古木を伐採することに抵抗もあるのだと思う。
②	付加価値やシステム化による対価の上昇は、後継者が育つうえでも大切。針葉樹は建築資材としても利用されているものの、広葉樹となるとその行方は？と改めて感じた。
②	もっと広葉樹を活用する方法を考えるべき。
②	広葉樹林の活用について、さらなる販路の拡大を期待。
③	両者が共同し知恵の出しあいができるのは良いこと。
③	山に入って仕事をする人たちをもっと増やすような活動を行う必要があると考える。
③	間伐をしないとよい木材はできない。その間伐材に新しい付加価値を付けることが必要。工夫も必要となる。
③	お互いの良さなどを活かし、産業を活性化していくために良いと思った。
③	税金を使っただけの保全やボランティアだけでは限界があると思う。収入があれば保全に広がりがでると思ったので。

4 国有林野の活用(P76~P81)

質問8		(1) 国有林野の活用の適切な推進、(2) 公衆の保健のための活用の推進の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	事例29 国有林野を利用した小水力発電所(P78)	28	55%
②	事例30 訪日外国人旅行者の需要への対応に向けた「日本美しい森お勧め国有林」における多言語看板の整備(P80)	12	24%
③	事例31 レクリエーションの森の活性化に向けた取組(P81)	11	22%
計		51	



※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問8		興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	水力発電以外にも地熱やバイオマス、風力発電など山林でもできる自然エネルギー利用はあるため、もっと普及させることで山での仕事が増えることになる。		
①	国有林野を利用した小水力発電が効果のあることが実証されれば、山地の多い日本にとっては大きなメリットになると思う。		
①	初期投資を抑えられる小型水力発電施設数の拡大は、電気エネルギーの拡大と自然エネルギー発電の安定に寄与する。		
①	今後どのように国有林に対してメリットがあるのか、引き続き知りたいと思った。		
①	得られる電力量と施設維持費の収支が気になる。		
①	民有林を利用した場合の補助、援助、指導もあってよいのではないか。		
①	小規模な水力発電施設だが、このような取組をたくさんの方が知ることで、地域振興や、地球温暖化防止につながるのでは。		
①	カーボンニュートラルと分散発電などの例として期待している。		
①	電気の使用量は増えるばかりだと思う。いろいろな発電方法はあるが、安全な発電はいいと思う。		
①	地域振興や地球温暖化への貢献度等具体的な内容を知りたい。		
②	日本人以外にも知ってもらいたいが、マナーも心配なので、多言語看板はあるといいと思う。		
②	日本人の森林に対する思いが伝わればいいが。		
②	外国人観光客にもよくわかる標識の多言語化は、今後もっともっと重要になると思う。		
②	外国語で書かれた標識があることに気が付いていたが、国有林の取組だとはじめて知った。		
②	今後コロナ禍がおさまるとまた大勢の外国人が訪れると思うので、こういう多言語看板は整備していったほうがいいと思う。		
③	以前に森林セラピーと言う活動に参加したことがあり、それがとても印象がよく、また参加したいと思う。		
③	まだまだ国有林のレクリエーション施設としての認知度は低いと思う。民活、他の商業やスポーツ施設との抱き合わせなど、多面的な活用方法が必要。		
③	この事業には、継続性のあるメンテナンスが必須。一過性でない予算の確保を望む。		
③	国有林野の有効活用と素晴らしい森林の魅力を多くの方へ伝える機会となると思う。		

5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全(P82~P85)

質問9 事例32 公益的機能維持増進協定に基づく森林整備(P85)を含め、ご意見等がございましたらご記入ください。

- 山での仕事量が増えるような政策を打たないと、山林の荒廃や活用できないといった事態が増加するため、治山管理にも支障を及ぼす。
- 森林の公益的機能を維持し、増進していくと言う森林整備保全は、決して簡単なことではないと思われる。多くの人びとの意識を高めて取り組んでいくことで向上をめざしていきたい。
- 林地における地籍境界の明確化と飛び地の解消の推進が必要である。
- 近年の高齢化進展の状況下、民有林の整備が不十分なケースが散見されるとの報道を見聞するにつけ、国有林と民有林とを一体的に整備する試みは、タイムリーな施策と思う。
- 国有林と民有林のあり方も検討が必要。事業規模効果で利益が出るのであれば、民有林と合わせて国有林の管理も民間委託することも良いと考える。
- 検証するという事は重要である。
- 本制度の開始時期を知らないが、協定締結数が少ないように見える。民有林保有者への周知活動が課題か。
- 民有林所有者は、自分で管理が難しくなっていることから、可能であれば、協定での整備ができればと考える。
- 管理エリアの一体的な施業が効率的であることはあきらかなので、費用の按分も含めて柔軟に検討していただきたい。おそらく、都市の1割以上となった空き家対策と平行に、メンテナンス放置されている民有林野の対策が課題になると思う。
- モニタリング調査の結果が楽しみ。
- もし自分に、活用できていなく、また、災害や害虫などで影響を及ぼしてしまっている土地があるとしたら、国に管理してもらえたら有難いと思う。
- (公より)民間の方がコストカットとか生産性とか工夫して実績をあげてくれると思う。
- 民有林野の外国資本による買い占めなどのニュースが伝わっている。公益的な森林機能の確保に支障が出るような事態は未然に防止できるのか懸念している。
- 狭い日本、でも森林は多い。林野の間伐事業は大切。でもただ間伐するだけではなく、間伐材の利用、販売、国民の使いたくなるもの(アイデア募集・商品化コンクール)で参加型等、アピール効果が高くなる方法で継続していくことが大切では。
- 土地は国のものだが、その上にあるもの(木、水、道等々)は、民間・国にとらわれずに、大きなイベント会場として考えてみては？例えば山と山をワイヤーで結び、人カロープウェイ(野猿)みたいな...。
- 国有林を守るためにも、接する民有林の整備は必要になってくると思うので、素晴らしい協定だと思う。
- 国有林と民有林とが一体となって森林整備が行われるのは良いことである。
- 耕作放棄の田畑の轍を踏まないように、民有林においては十分な連携を図って、国有林野と一体として整備及び保全を行うことは非常に重要であると確信している。
- 間伐事業は一定の効果があることが証明されたので、国有林に限らず森林バランスをよくするため、民有林間伐にも力を入れてほしいと思った。
- 民有林との連携、ますます推し進めていただくよう、国民は期待している。

質問9 事例32 公益的機能維持増進協定に基づく森林整備(P85)を含め、ご意見等がございましたらご記入ください。

- 協力的な人ばかりではないと思う。ご苦労様です。
- 民有林の間伐事業の推進状況について、県の環境税で村内放置林の間伐を森林組合が行っているが、村内施業がなく切り捨て状態で、本来の間伐の意味をなしていない状況。林内をまともに歩けない。管理局にも同様の見識と健全な意識(使命感)を保持・又は保持する努力をしてほしい。
- 場所や形状による適否はあるかもしれないが、できるだけ基準を緩やかにして近接民有林の利活用が図れるようにするべきである。
- 間伐による効果を幅広く検討されることをさらに望みたいと思った。
- 森林整備について知ることができてよかった。
- 民有林だけが残って悪い影響を与えることがあるならば、一体となり、整備・保全して守ることは必要なことだと思う。
- 公益的機能維持増進協定の取組を推進するために、協定締結の条件の緩和が必要ではないかと考える。
- 必要な間伐はあると思うので、間伐をしてからどのようになったのかメリットや悪い点などを引き続きチェックすることが大切だと思う。

6 国有林野の事業運営(P86~P93)

質問10 (1)民間委託の推進、(2)計画的かつ効率的な事業の実行、(3)情報システムの活用とICT(情報通信技術)の導入、(4)安全・健康管理対策の推進と事例33 無人航空機を用いた森林調査方法の検討(P92)の中でご意見等がございましたらご記入ください。

- 民力の活用は、以前から言われていたことだと思うが遅々として進んでいない。時間がかかりすぎて、その間にも山がどんどん荒廃してしまう。しっかりとした政策実現を官民あげて取り組まないと、取り返しのつかないことになる。
- (3)について今や、小学校からICTを用いた教育がなされていることから、これからの世の中にとって必要不可欠なものになっていくと思われる。
- 効率的な林業運営に資するために、民有林の受け入れ等を進めることも必要である。
- 今後も林業関連業務の省コスト、省力化の推進を継続してほしい。
- 木材の販売利益で委託費用が賄えるようになると良い。事業規模では解消できないような問題なのだろうか。無人航空機の利用は複数の森林管理署で導入されている。得られたデータの共有や、より便利なシステム開発など進めていただきたい。
- 民間委託もいいが、安全は十分に気をつけてほしい。
- 国有林の付加価値、生産性の拡大をミッションとする部門を設けてはどうか。木材の需要・用途拡大や非木材(例えばきのこ)での生産額拡大に大きな可能性を感じる。
- コスト面はどうなのか？
- 無人航空機を用いた森林調査方法が実用化されることを期待している。
- 事業の効率化は望ましいことではあるが、過度の収益性を林業に求めないようにお願いしたい。
- 日本における大事な資源である森林を活用するためには現状を把握する事が大事なのでぜひ調査を進めていただきたい。
- どれも素晴らしいと思う。

質問10

(1)民間委託の推進、(2)計画的かつ効率的な事業の実行、(3)情報システムの活用とICT(情報通信技術)の導入、(4)安全・健康管理対策の推進と事例33無人航空機を用いた森林調査方法の検討(P92)の中でご意見等がございましたらご記入ください。

- ICTの導入などがもっと進むといいと思う。事故を減らすような取組もされているが、事故がないことが望まれる。
- 山を保持することは非常に費用が掛かる事、と、感じた。自然＝管理していない、というものでもない、とも。民有地と国有林の切り分けも難しいとは思いますが、できれば、一つの自然として存在できればいいと思う。自身は山の土地を持っているわけでもないが、どのように支援していけばいいのかを検討していきたい。
- (3)情報システムの活用と導入。森林、路網、災害調査等を、効率的な取組で、衛星画像、無人航空機の活用など省力化にもつながり大変有効に思える。
- 白山パークボランティアで体験したが、この看板は国、この看板は県、等々、登山者の立場に立った必要な物、人、時間がまったくない(縦割りすぎる！)。
- 日本の民主主義を守るため、特に、(1)が大切である。
- 職員の方の災害は心が痛む。これからも安全確保のうえ作業頑張ってください。
- 大変な中での作業があり、危険が伴うので、安全、健康にも注意していただきたい。
- (1)について、民間委託を推進することで、この分野でも雇用創出の推進につなげることができればいい意味で好循環になると思う。
- (3)この事業が全国的に展開されれば、日本国内の森林は生き返り、作業量も少なくなるので、少人数で管理ができると思う。
- やはり、無人航空機が活躍する時代である。
- 一変してしまった国内事情を考えれば、これまでの旧態依然での考え方や行いでは通じないと考えている。点→面で相互補完できる制度設計に始まり、個別又は独立していた事業をリンク又はジョイントしたシステム(パッケージ)として運用させる効率性の方法を考える必要があると、今回の基本計画の実施状況を拝見し痛感した。ICTの普及に着目。
- 無人航空機、ICTを活用した森林管理方法をもっと導入してはどうか。モニターの皆様方にも大変興味があると思う。
- 日本の森林は荒れ、人手が入らない放置林も多い。それはキチンと境界がわかり、所有者がわかり...となっていないからである。相続登記がなされないケースも多く、対策を考えるべきである。
- 今後は、情報通信技術や、無人航空機を使っでの取組が大切、さらに重要になる。
- 日本の林業は昔に比べて衰退している。少しでも良くするために、(1)～(4)のことは行い、森林保全ができるようにしてほしい。森林を次世代に残してほしい。
- 膨大な土地や森林の仕事は、労力、体力、気力が普通の人よりも必要だと思うので、ICTなどの最新技術の導入、民間委託もして、職員の方の安全と健康管理がもっと向上すればいいと思う。
- 無人航空機の導入は今後、必ず森林の管理に役立つと思う。講習会で資格取得するための補助が必要では？
- 情報システムの活用とICTの導入は力を入れてほしい。人の手だけでは知りえなかったこともあると思うし、データとして残ることが今後の取組で役立つと思う。

7 その他国有林野の管理経営(P94～P103)

質問11		(1)人材の育成、(2)地域振興への寄与、(3)東日本大震災からの復旧・復興への貢献、(4)関係機関等との連携の推進の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	事例34 木材安定供給(生産・販売)研修の実施(P96)	20	39%
②	事例35 埴浜(らちはま)防災緑地用地への国有林野の提供(P98)	7	14%
③	事例36 民間ボランティアと協力した海岸防災林の復旧・再生(P100)	19	37%
④	事例37 避難指示解除区域における実証事業(P101)	5	10%
計		51	

④ 10%

① 39%

② 14%

③ 37%

質問11		興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	森林成長後の人々とのかかわり、特に利活用、販売(売上、収入)に効果的なのが大切。		
①	自分も山の仕事をできるようになったが、育成してもらうような制度もないため、自学自習で一から山のことを学ばないといけなくなっている。		
①	第1次産業の次世代を担う人材の確保が、最優先課題だと思う。		
①	モニター活動で得られた知見や資料を利用し、地元の若い人達に伝えたいと考えている。		
①	安定供給(生産・販売)は生活をするうえでもかなり重要な要素となると思う。		
①	木材の安定供給を通して、森林の健康を取り戻してほしい。		
①	零細林業者への支援・協力が必要である。後継者対策にも!		
①	「人材の育成」は幼少期からこそ大事だと思う。子供の頃体験したり見たり感じたことは強く心に残るはず。		
②	子供のころからの体験や経験は、少しでも地域の力になると思う。大人になった時に国有林について知識がまったくない人とは考え方、故郷への思いも違うのではないか。		
②	災害で被災すると心も折れるので、復興して行く姿は被災地の力になると思う。		
③	大勢の人たちが身近に参加できる。		
③	民間ボランティアの個々のパワーは、よい活力になると思う。		
③	民間ボランティアの力を有効に活用して海岸防災林の復旧、再生を図るこの方式はほかの分野にも応用できるのではなかろうか。		
③	苗木の植栽を企業やNPOを加えて実施すべき。		
③	専門の方のみではなく一般の方(ボランティア等を通して)が現在の森林・国有林などに関する問題を知り、取り組むことが大切になってくると思う。		
③	ボランティアの活動の在り方が、今大変重要になっている。こういった取組もあるのだと気がついた。		
③	海岸防災林の再生は重要なことだと思う。		
④	放射性物質が消えてなくなるわけではないので、それらを除去した後の処置や行方がうやむやにならないか疑問を持っている。		

その他 「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。

- もう少し、林野に関する研修や実地講習などの案内があるといろんなものに参加したいので助かるのだが、あまりそういう機会がない。大阪府の林業アカデミーにも参加したいが、時期が限られたり場所が遠方だったりするので、気軽に参加できない。
- 営林署の姿が消え、国民と林政との距離が広がっているように感じている。広報・広聴の活動と学校教育を推進して頂きたい。
- 林業を取り巻く状況、省力化のためのIT技術活用など、日常生活を送るなかでは、知りえない知識を得られた。
- 広大な面積による問題、侵入しにくいことによる問題、鳥獣による被害、知らないことが多かった。現在の活動に対するアンケートも重要だが、全体像の説明もいただけるとたすかる。どのような問題があり、どういう方法で対応を検討し、どの段階まで実施できているのか、といった観点での整理。ようやく、全体像がわかりつつある状況。
- モニターになって初めて国有林のこと、林野庁の様々な事業のことを少しずつ知ることができた。モニターになってない方々にももっと知ってもらえるような発信をするべきと思う。日本の森林を大切に思っている人にとっては興味深い活動が多々あり、それがあまり知られていないのは残念。
- 今回モニターを行うことで、国民に知られていない事柄が沢山あるように感じる。特定の人々だけではなく、多くの国民が皆さんの活動の様子を知って欲しい。
- 実際に見学の機会がもう少し回数あると、日程を選んで参加できる。
- 令和2年度の国有林野モニター事業は、コロナの影響であまり活動できなかったことから、来年度もう1年モニターをやりたい。
- 『実施状況』、『林野』いずれも大変興味深く拝見した。モニター終了後も同様の資料を読みたい。
- 資料を頼もしく拝読した。全国津々浦々で持続可能な森づくりに努力されていることを知り感銘を受けた。外国から帰国する際、飛行機の窓から見える「緑の日本列島」に大きく深呼吸、安堵感を覚えるのは何故？国有林野事業推進の大切さを改めて理解できた。
- アンケート用紙の1枚目にあるQRコードが第2回国有林モニターアンケートのフォームにリンクしてあれば、とても便利だったと思う。
- 知らないことばかりで、もっと世間の人に活動を知ってもらえれば良いと思う。
- 現地での見学などはとても良い体験になった。
- 今回、非常に考えることの多いモニターだと思った。生きていく中で考える、すべての要素が詰まっている。
- もっと身近に感じるようなイベント、PRが必要ではないか？
- 大部の資料をいただき、浅学の素人には手に余る課題に首を突っ込んだ感じがしている。
- かつて多くの森林、自然との触れ合ったその時の知識が大いに役立ち、思い起こしつつモニター活動を行った。もっと多くの方々にも人生があるように体験があるのでは。国民の意見を吸い上げるのに役立つ事業と思う。
- 今年初めてモニターになり、国有林の言葉は知っていたが、どこにどれくらい？何がある？等々、白山パークボランティア等の立場で、一年経験させていただいた。モニター会議はコロナのリスクもあって不参加だったが、来年こそは参加してみたい。
- 紙の印刷物が多すぎる気もするので、ページ数や発行回数を減らしてもよいのではないかと。紙でなくても使える方法はいろいろある時代。

その他 「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。

- 知らなかったことが多く日頃のご苦労がわかり、森林への考えが変わった。
- 初めて国有林モニター事業に協力させて頂き知らなかったことをたくさん知ることができ、とてもよかった。
- とても期待していたはずの「国有林モニター会議」に物理的、時間的、地理的な制約により参加を断念せざるを得なかった。様々な障壁があろうかとも思うが、できればモニター会議への参加の機会を拡充する意味からも複数回設定していただけるとありがたい。“現地見学”という活動もモニター事業の大きな根幹だと思う。
- 国土の多くの面積を占める森林を今後どうしていくかは、日本を今後どのようにしていくかを決めることになると思う。市民が森林に目を向け、意見を伝えていくこともとても大切だと感じているので、今後も貴事業を続けていってほしい。
- 地域の森林に注意が向くようになった。
- 林野庁、国有林、森林事業などについて少しでも興味を持って考えるきっかけとなる。資料を読み、冊子や刊行物などを手に取り、見学会や植林体験など身をもっての体験もとても意義がある。今後とも続けていってほしい。
- 民有林を担当する自治体関係者に皆様の業務遂行上のノウハウを冊子にまとめ、資料として各市町村、森林組合へ配布してほしい。また具体的な内容と実践力がすごい。本当にご苦労様です。
- 今回初めての国有林野への新見市における集材現場、ドローンによる状況確認とあのどろどろの道なき道を上りつつ森林管理局の皆様の大変なご苦労を体験させていただいた。今後とも、管理局の皆様の応援をさせていただきたい。
- とにかく「国有林野の保全管理が林野庁の仕事だ」ではなく、国有林だけでなく、日本のすべての林野とその現状、あるべき姿について目を光らせてもらいたい。北海道や辺境の島々、いろいろのところで外国資本が土地、林野を買い占めて水源地さえ危うくなっている。林野庁の役割は大きい。海の水産庁、海上保安庁などに負けない林野庁であってほしい、プライドも持ってほしい。
- 国有林について知る機会がほとんどなかった。モニター事業を通じてたくさんの人に国有林について知ってもらい、関わられるようにしてほしい。
- 今現在の国有林、林業の状態や、取組、仕事の内容なども詳しく知ることができた。またそれを微力ながらも知人、友人に伝えることが楽しい。できることが、森や自然について考えるきっかけに少しでもなっていたらうれしい。
- せっかくモニターに参加できたので、実際にモニター会議に参加したかった。コロナ禍でなければ・・・と思った。今後はオンラインでの参加ができれば。

以上、令和2年度国有林モニターアンケート(第2回)調査結果でした。
ご協力ありがとうございました。